

(令和5年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	4月の総入荷量は、気温上昇で前半は前進気味の入荷となったが、後半は曇雨天や気温低下の影響により生育が鈍ったため前年同月比で6%下回った。総取扱金額は、月間を通して単価の変動が激しかったものの、前年同月並みであった。今後は前進出荷となった品目が不足気味となり、入荷は平年を若干下回ることが予想される。 5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、青梅の入荷が始まる。果実では、マンゴーや桜桃の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は6%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は13%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は14%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は品薄により高値で推移した前年同月と比べて39%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は6%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で12%上回り、単価は7%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は7%下回った。 いちご類の入荷量は寒波や急激な気温上昇等の天候不順により前年同月比で13%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は17%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん たけのこ	鹿児島、長崎、滋賀、千葉、香川などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は５％下回った。 徳島を中心に長崎、熊本、長野、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は３２％上回った。 京都を中心に徳島、福岡、熊本、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２１％下回り、単価は１９％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	茨城、長崎、宮崎を中心に熊本、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は１４％上回った。 愛知を中心に兵庫、神奈川、滋賀、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は４％上回った。 茨城、福岡、岐阜、京都、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は２２％上回った。 兵庫を中心に徳島、長崎、岡山、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は９％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に高知、福岡、滋賀、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は１７％上回った。

なす	高知を中心に岡山、熊本、京都、滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り、単価は２１％上回った。
とまと	熊本を中心に福岡、三重、佐賀、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は８％上回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に茨城、鹿児島、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は２８％上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	鹿児島、北海道、長崎を中心に熊本からも入荷した。入荷量は寒波の影響により生育が遅れたため前年同月比で１０％下回ったが、単価は品薄により高値で推移した前年同月と比べて１２％下回った。
たまねぎ	長崎、北海道、兵庫を中心に佐賀、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は品薄により高値で推移した前年同月と比べて６５％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	鹿児島、愛媛、福岡、熊本、和歌山から入荷した。入荷量は寒波の影響により前年同月比で１５％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
清美オレンジ	和歌山を中心に福岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で１３１％上回り、単価は７％下回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回ったが、単価は需要が低かったため１１％下回った。
いちご	福岡、大分、熊本、長崎、佐賀などから入荷した。入荷量は寒波や急激な気温上昇等の天候不順により前年同月比で１３％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡、高知から入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回ったが、単価は７％上回った。
大玉すいか	熊本を中心に高知からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回ったが、単価は前年同月並みであった。